

平成23年度佐久市文化財保護審議会 会議録

日 時 平成24年3月14日(水)

午前10時～11時30分

場 所 野沢会館102会議室

委員出席人数 出席10名

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 教育長あいさつ
- 4 会議内容 (事務局説明、質疑、意見等要約)

協議事項

- (1) 旧志賀村役場の保存について

事務局：資料No.1について、事務局から説明

委 員 建物の所有者はだれか。

事務局 佐久市となっている。

委 員 価値があって保存するとして、移転先は決まっているのか。

事務局 具体的な検討はない。

委 員 文化財保護審議会の審議は、文化財の価値を審議すべき。地元の意見やコスト面を考え始めたらきりが無いのでは。

委 員 文化財の指定は、単に保存すればいいだけでなく、社会教育での活用等文化財を利用していくことも大切なことである。

事務局 委員の皆さんから頂いた意見は、残すべき価値があるという意見が多い。事務局としては専門家に移転・改築・復元等をする場合の費用面や移築の際の場所の検討、地元の考え等を精査してから、もう一度委員の皆様にご検討していただくよう情報提供をしていきたい。

(2) 桑山の五輪塔群について

事務局 資料No.2 について事務局及び依田委員から説明

所有者及び地元から、守るべき文化財として指定申請についての動きがある。今後どのように進めていったらよいか、ご意見を伺いたい。

委員 時代的な背景や地区との関わりなどの資料が乏しい。
もう少し資料等をそろえ検証してから、審議会において検討した方がいいのではないか。

委員 五輪塔の形は非常に古い形に見えるので価値はあるかと思うが、学術的な調査をしないと価値が決められない。時代性だけでなく地域との関わりも必要となる。市の方で調査はできるか。

事務局 文献等の資料を地元で集めてもらい、文化財課で調査できる範囲は調査していきたい。

(3) 岩村田若宮神社祇園社神輿について

事務局 資料No.3 について説明

岩村田神輿について以前から検討をしてきたが、専門家からの所見を添付し資料の提出があった。市有形文化財として指定できるか次回以降の審議会でも検討願いたいので、検討資料として資料内容のご確認をお願いしたい。

委員 岩村田の祇園は600年以上前から続いている由緒あるお祭りである。地元との関わりや、神輿についても製作者や作られた年代もはっきりとしている。大変貴重な由緒あるものと思う。

委員 地元としての調査内容や意見がないので、調査書に添えて欲しい。

事務局 正式に申請するときは、地元の調査書を添付しての申請をお願いする。

委員 史料としては信濃修験大井法華堂の「埋目草」の276頁に江戸時代の祇園祭についての記述の箇所がある。

報告事項

(1) 八幡神社について

事務局 資料No.4 により事務局及び春原委員から地域に残る古文書等を調査した結果について報告。

検証された文献等について、今後地元の勉強会等の機会を利用して地域住民に周知したり、「佐久市の文化財」等の冊子において利用していきたいと考えている。

委員 調査資料についてまとめたものを、委員にも配布して欲しい。

(2) 旧中込学校の改修について

事務局 資料No.5 により改修状況の報告を行う。

(3) その他

委員 文化財の指定について、合併前の市町村の基準に差があったかと思う。各地区で調査していったほうが良いものがあれば、調査し審議会で取り上げていくようにたらどうか。

事務局 文化財保護審議員の皆様にご協力をいただき、地域に眠る文化財について確認をしていきたい。また、文化財指定の基準の明文化について内部で検討し、皆様にお示ししたいと考えている。

5 閉会

午前11時30分終了